

News release

2025 年 11 月 17 日

協和キリン、LGBTQ+に関する取組み評価指標 「PRIDE 指標」のゴールド認定を 4 年連続で取得

協和キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 COO：アブドゥル・マリック、以下「協和キリン」）は、11 月 14 日に LGBTQ+（レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー・クエア/クエスチョニングなどの性的マイノリティ）に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2025」において「ゴールド」の認定を受けましたのでお知らせします。昨年の認定に続き、今年で 4 年連続のゴールド認定です。

「[PRIDE 指標](#)^{注1}」は、企業などの団体における LGBTQ+に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する [work with Pride](#)^{注2} が策定した、日本で初めてとなる評価指標です。

協和キリンは 5 つの評価指標のうち、全ての取り組みについて、それぞれの規定の項目の基準を満たしているとしてゴールドの認定を受けました。2025 年は 6 月にキリンホールディングス、ファンケルと合同で Tokyo Pride に 3 年連続ブースを出展し、さらに、同月に出展したブースの様子をオフィスで体験できる「本社ジャック」イベントを開催しました^{注3}。また、9 月に Ally（アライ）^{注4}を募集した結果、全国から 104 名の従業員が意思表示しました。今後 LGBTQ+のコミュニティ活動をさらに広げていく予定です。LGBTQ+に関する基礎知識や正しい理解を深める機会を通じて、より自分事として捉え、前向きに関わる従業員の輪が広がっています。



協和キリンの常務執行役員 Chief People Officer 板垣祥子は以下のように述べています。「協和キリングループは Life-changing な価値を創出し、世界の人々の健康と豊かさに貢献するため、人・組織のありたい姿を「KABEGOE Principles」で言語化しました。その中には「全ての声に居場所をつくる」や「仲間を思いやる」といった Principles が含まれており、LGBTQ+を含む多様なバックグラウンドを持つ一人ひとりが活躍できる組織風土と企業文化をつくることの基盤となっています。これらの Principles を体現し、すべての従業員が自分らしい働き方を実現できるように制度の策定や運用、環境づくりに努めていきます。」

LGBTQ+に関する協和キリンの具体的な施策は以下の通りです。

- ・役員や従業員への知識修得と意識向上のための活動
 - 研修実施(日本/EMEA(ヨーロッパ、中東、アフリカ))
 - 社内 Global PRIDE ネットワークによるアライに関する資料の作成
 - LGBTQ+に関する書籍の社内展示
- ・SOGI ハラスメントへの対応
 - ハラスメント撲滅研修に SOGI ハラスメントを記載
 - SOGI ハラスメントへの対応と LGBTQ+ 社内相談体制図の明確化及び社内周知
- ・同性婚の場合も法律婚と同等に利用可能な社内制度の策定
- ・ホルモン療法等の通院治療時の就業継続サポートとして、年間 10 日間の休暇取得が可能な制度の整備^{注5}

- ・キリンホールディングス・ファンケル・協和キリン 3 社合同での Tokyo Pride ブース出展
- ・日本の ERG 活動開始に向けた、アライの募集
- ・Business for Marriage Equality ^{注 6} への賛同

LGBTQ+に関する取り組み以外の協和キリングループの多様性推進施策について、詳しくは以下のサイトをご覧ください。

https://www.kyowakirin.co.jp/sustainability/human_resources_infrastructure/dei/index.html

協和キリングループは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

注 1 PRIDE 指標

企業などの団体における LGBTQ+に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する work with Pride が策定した、日本で初めてとなる評価指標です。LGBTQ+の人々が誇りを持って働ける職場の実現を目指すこの指標は「PRIDE」の各文字に合わせた 5 つの評価指標で構成されています。詳細は：<https://workwithpride.jp/pride-i/>

1. Policy (行動宣言)
2. Representation (当事者コミュニティ)
3. Inspiration (啓発活動)
4. Development (人事制度、プログラム)
5. Engagement/Empowerment (社会貢献・渉外活動)

注 2 work with Pride

企業などの団体において、LGBTQ+、すなわちレズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーなどの性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する一般社団法人です。work with Pride の目的は、日本の企業内で「LGBTQ+」の人々が自分らしく働ける職場づくりを進めるための情報を提供し、各企業が積極的に取り組むきっかけを提供することです。

詳細は：<https://workwithpride.jp/about-us/>

注 3

協和キリンは労使共同で参画しました。

注 4 Ally (アライ)

LGBTQ+当事者の理解者・支援者です。

注 5

社員全員を対象に、通院治療時等の就業継続サポートとして、年間 10 日間の「セルフマネジメント休暇」の取得を可能としています。

注 6 Business for Marriage Equality

婚姻の平等（同性婚の法制化）に賛同する企業を可視化するためのキャンペーンです。公益社団法人 Marriage For All Japan (MFAJ)、NPO 法人 LGBT とアライのための法律家ネットワーク (LLAN)、認定 NPO 法人 虹色ダイバーシティが共同で運営し、賛同企業を募っています。